



歯と体のつながりを重視するホリスティック医療とは何か。藤井佳朗院長に聞いてみた。

## 木も見て森も見る(歯も診て全身も診る)のが当たり前 口は常に体とつながっているのだから

**Q** ホリスティック(全体を診る)医療に取り組んだきっかけは。

**A** 昔からあったんです。入れ歯を入れたら認知症が治ったとか、寝たきり老人が歩けるようになったという話は、歯医者同士でよく話されていました。セオドア・ルーズベルトが一本の虫歯で死んだといわれますが、あれは歯の根っこの膿みが肺にまわって死んだそうです。それこそヒポクラテスの時代に歯を抜いたらリューマチが治ったという記載があるくらいです。また70年前にアメリカの耳鼻科医コステンが、噛み合わせが歪むと耳がおかしくなって、体がフラフラになる症例を発表しました。いまはコステン症候群と呼ばれています。

実際、歯の噛み合わせを変えたら、スポーツ選手の成績がよくなった。マウスピースを着けている野球選手がいるでしょ。あれですよ。カール・ルイスも早く走るために歯の矯正をしていました。噛み合わせがポイントで、全身に影響しています。口から全身をよくするのは。体にとって一番いい歯の状態とは何か。それを日々の治療で追求しています。

**Q** 動画では治療の実際を紹介されていますね。

**A** コロンビア大学で足の悪い患者さんを診ました。まず膝を伸ばした状態で足を上げて、骨盤周囲関節の具合を検査します(SLRテスト)。ヘルニアでは、

足が上がりにくかったり、足を上げようとすると痛みが出たりします。前歯を少し削って噛み合わせを治しただけですぐに変化しました(YouTube動画: 2012 NY Demonstration, <http://youtu.be/s35pViZvk-Q>)。

要するに頭は人間の体のなかで一番重く、重い頭を体が支えているわけです。ところが大きくて重い頭が高い位置にある人間は、動物の中で一番安定が悪い。頭は背骨に支えられているので、体の重心に頭がきちんと乗ると、安定します。乗っていないと不安定になります。噛み合わせが悪いとその重心がずれると考えるのが一般的にはわかりやすいです。だから重い頭の重心を、背骨にきちんとおけると、安定して体の歪みもとれるのです。

地球上にいる限りは重力には逆らえま